

残暑もようやくやわらいできました。先日より背にタイトルが書かれていない本にタイトルを印字しています。時空をこえた宝ものが見つかることがあります。写真はPeterson Flash Guides のTrees 24面のフラッシュカードで100種以上掲載されており、折りたためて重宝します。Wild flowerもあり、話題書コーナーにおいておきます。



本や論文のリクエストや質問などお気軽にメールでおよせください
tosyo@awaji.ac.jp

A 図書館：大型図書 (oversize book)とは通常より大きな形態の図書をいいます。一定はしていないが通常A4サイズ以上をいうことが多く当館では、普通の書架の1段が34センチなのでそれ以上の本、横長の本などを大型図書として参考図書や窓際の書架に配架しています。3段ラベルの1段目の最初にL (largeの意)を付けています



日本の庭園は、
L629. 1/N71



B 図書：最近購入した絵本です。 CasaBRUTUS2020.9の特集が”大人も読みたいこどもの本100”今夏オープンしたこども本の森中之島と共に、安藤忠雄氏の初めての絵本「いたずらのすきなけんちくか」や「りんごかもしれない」「愛蔵版みどりのゆび」「小さいデザイナー駒形克己展」「Michi」「ポタニカム」などが紹介されています。当館ではNDC726などに分類しています。



イマジネーション豊かにお過ごしください

C 雑誌：建築関係の雑誌「建築雑誌」「新建築」「新建築住宅特集」は20年以上、「日経アーキテクチャ」「CasaBRUTUS」は15年以上「Landscape Architectre」約40年購読しています。他に建設物価や土木学会誌、日経コンストラクションなど、過去に建築文化などの雑誌も購読していました。建築を含めたランドスケープにお役立てください。



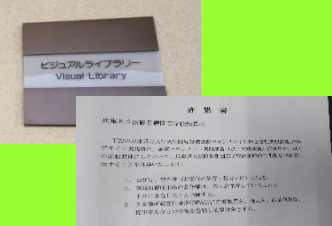
「新建築住宅特集」では毎年8月の特集は庭。人と自然をつなぐアイディア満載です。

D 他の館：兵庫県立人と自然の博物館は、当校校長中瀬氏が館長を務める平成4年に開館した豊富な資料と優秀な研究者が研究をすすめる、一般向けのセミナーも開催している博物館です。開館当時の展示案内、2012年に発行された新しいところみについての本がありますが、近年はホームページでくわしい情報を検索できます。 <https://www.hitohaku.jp/>



ホームページでは、「ひととは通信ハーモニー」が読めます。101号以降はプリントアウトして図書館カウンターにおいてあります

E 質問：ビジュアルライブラリーについての質問がありました。図書館2階にはアーカイブ室、材料見本室のほかにビジュアルライブラリーがあり修士論文などを修了年度ごとに保管しています。部屋のかぎは図書館スタッフが預かっています。研究科生の論文タイトルは登録しており、図書検索で表示されます。発行年月日を参照しておさがしください。



卒業生の皆様には後輩のために閲覧許諾書を原則提出いただいています。学内の方のみ利用できます。雑誌の貸出日数(3日)ですが延長もできますので、他の資料と同じように貸出手続きをしてください。大切に取扱いいただきますようお願いいたします。

編集後記：おうち時間がふえて、公私とも本に接する機会が増えました。60歳で起業して同時に立命館アジア太平洋大学の学長に就任した出口治明氏をテレビで拝見し、若者との対話でありきたりでない回答をされているのに感心しました。出口氏の著書「本の『使い方』1万冊を血肉にした方法」を購入しました。著者によれば「読書は食卓に並ぶ『おいしいおかず』」だとか。